

歯の寿命と歯列の関係

中西 秀郎

皆さんもご存じの、平成元年から始まった 8020 運動の結果を見るとある特定の咬合状態の人は、80 歳以上で 20 本以上の歯を有しますが、それ以外の人では 8020 の達成が難しいことが分かります。

日常臨床をしていると、治療をしても歯の崩壊が止まらない人、歯槽骨の喪失が止まらない人が見受けられます。いろいろな条件はありますが、歯列や咬合に関してこのデータを紐解くことによって、矯正治療のゴールが見えてくることを、文献的考察をふまえて紹介したいと思います